

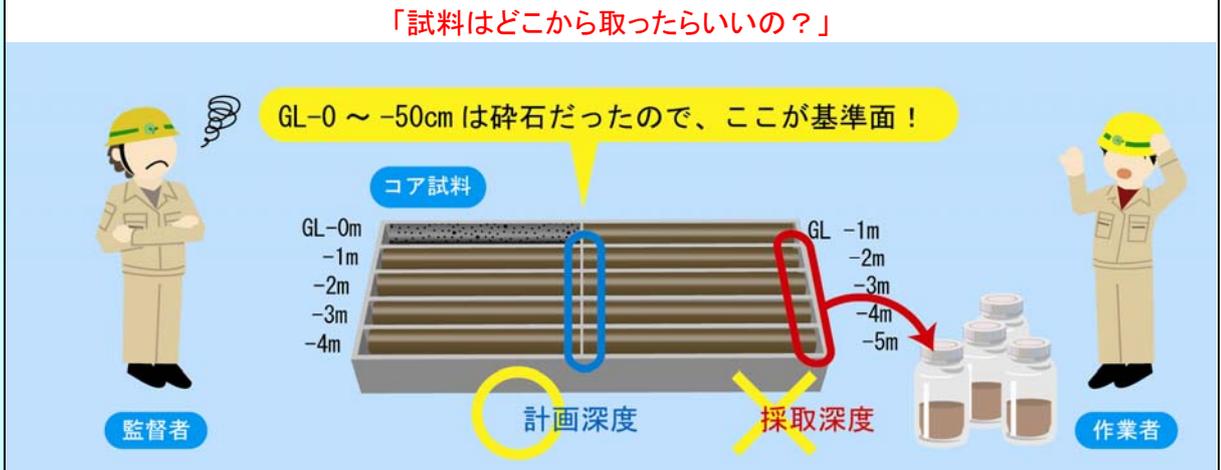
不具合事例

整理番号 C-01-013

タイトル	コア箱に収納された土壌試料、どこが何m？		
工種	<input checked="" type="checkbox"/> 調査 <input type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種特定有害物質、第二種特定有害物質、第三種特定有害物質、油類		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「試料はどこから取ったらいいの？」</p>		
作業内容	土壌試料採取 ボーリング調査		
使用機器	スコップ、サンプル袋、サンプル瓶		
不具合事項			
<ul style="list-style-type: none"> ボーリング調査において、コア箱に収納されたコア試料から土壌試料を採取した。 地表に碎石が50cmの厚さで敷き詰められており、土壌試料採取の基準面は地表面から-50cmの位置であった。¹⁾ コア試料は地表部から採取し、コア試料中央で土壌試料を採取する計画としていた。採取位置の指示がなかったために、作業者が機械的に1m毎にコア試料の右端から土壌試料を採取したため、計画した深度の土壌試料採取が出来なかった。 			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
<ul style="list-style-type: none"> 監督者は作業員へ、試料採取の方法、位置を十分に説明すること。また、作業員の試料採取状況を適時監督すること(監督者)。 作業員は不明なことがあったら、監督者より説明を受けること(作業員)。 			
応急措置			
<ul style="list-style-type: none"> 採取位置を確認して、土壌試料採取をやり直す。 第一種特定有害物質の場合には、揮発性があるため、ボーリングによるコア試料採取からやり直す。 			
その他、留意事項			
<ul style="list-style-type: none"> 通常、コア試料は1m毎に採取され、コア箱収納時は左側が地表面側、右側が掘削長終端である。 地表面が舗装されている場合には、地表面を基準としないため、試料を採取する位置は必ずしもコア試料の右端でない場合がある。監督者は作業員へ事前に十分な説明をする必要がある。 地質が大きく変わる箇所では、地層ごとに試料を採取することもあるため、事前によく確認すること。 			
関連法規等、出典	1) 土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン暫定版 p. 153		
キーワード	試料採取 採取深度 コア試料 コア箱		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル コア箱に収納された土壌試料、どこが何m?

説明図



作業内容 土壌試料採取 ボーリング調査

指示事項

- ・コア箱に収納されたコア試料から土壌試料を採取する。
- ・地表に碎石等がある場合は、土壌試料採取の基準面は碎石等の下部に変更となるため、監督者に採取位置を確認すること。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン